



1学期就業体験の感想

1学期就業体験 おつかれさまでした！

各学級から1名、実習に取り組んだ感想を掲載しました。

『校内就業体験を終えて』

1年7組 Y・M

校内就業体験での実習の内容は木工、ビルクリーニング、縫製、農園芸をしました。

木工で良かった所は、板にデザインをきれいに描くことが出来たことです。反省点は板をまっすぐに切れなかったり、すばやく作業に入れなかったことです。



ビルクリーニングで良かった所はすみずみまできれいにそうじが出来た事です。反省点は作業がとまったり、作業に集中できなかったことです。

縫製で良かった点はしつけ縫いをきれいにていねいに縫えたことです。反省点はミシンを使ってる時によそ見をしてしまったことです。

農園芸で良かった所は言われた作業をてきぱきできたことです。反省点は大きな声で返事が出来なかったことです。2週間の実習で学んだことは、改めて仕事の大変さが分かりました。

また改善したい点は、大きな声で返事することです。

『就業体験を通して』

1年8組 S・K

僕は、2週間の就業体験を通して、さまざまな体験をすることができました。

木工では、木製のしおり作りを行いました。まず、木の板に8cmずつ線を引き、のこぎりで切断しました。紙やすりで切断したあとと角をやすりがけしました。穴あけの際に、時々板が割れたことがあったので、慎重に穴をあけることが難しかったです。



ビルクリーニングでは、真空掃除機がけとジェットを主に担当しました。畳を掃除機にかける時は、繊維方向にそってかけると奥に入り込んだチリまで綺麗にとれることが分かりました。ジェットを扱う際に、トリガーガンを持っていたら、うでが痛くなったので、大変でした。それに、ゆっくりジェットを動かしていかないと、汚れが取れないので、つかれました。でも、綺麗になったところを見たら、何だかすがすがしい気持ちになりました。

農園芸では、初めての草刈り機を操作して、けっこう力があるので難しかったです。でも、段々とコツをつかんで、けっこう上手いだったので、良かったかなと思います。

縫製では、1学年分の貴重品入れを作る為に、皆で集中して一生懸命作業しました。総合学科生の余った布きれをミシンで縫ってつないで、取っ手をついたら完成という、シンプルな作りだけど、8組分もつけないといけなかったもので、以外と大変でした。

就業体験の感想は、けっこうきつくて、しんどかったけど、やるとなるとやりがいがあると思って良かったです。先生からもほめられ

た点や、改善点もいろいろあったけど、今後の校外実習の参考にもなったなと思いました。

1学期 就業体験報告会

6月21日(木)、22日(金)の2日間、1学期就業体験報告会を行いました。1年生は初めての就業体験で、1日中作業に取り組む日課を2週間にわたって行ったので、やはり、ほとんどの生徒から、きつかったこと、疲れたことなどの感想が聞かれました。でも、どの生徒も先生方に褒められたことや注意されたこと、アドバイスされたことを、しっかり覚えていて、次回の就業体験に向けた課題として改善したいと、明言したことはとても心強く思いました。2学期は校外の会社での実習ですから、これからの成長を期待しています。



2年生、3年生は校外の会社や店舗などでの実習でした。本校進路指導の方針から、1つの会社に1人配置して実習に取り組みさせることから、全員、1人で会社の中で2週間、頑張らないといけません。初めての職場、前回も来た職場などありますが、大勢の大人の中で、コミュニケーションをとって、しっかり仕事をこなさないといけませんので、どの生徒の感想文にもそれらの苦労があらわれていました。1年生同様、今回の実習の課題をしっかりと把握していて、次回の実習までには直したい、と決意を述べていました。



特に3年生は、1回1回の実習が来春の就職先を絞り込んでいくことに繋がりますので、真剣味が違います。さすが、最上級生ですね。

1年生、2年生、3年生、どの学年も本当にお疲れ様でした。

『就業体験』

2年7組 G・A

わたしが就業体験で2週間仕事したのは豆腐のひろし屋です。豆腐のひろし屋でわたしがはじめてやった作業はとうふをふくろにいれる作業でした。あんがい、とうふをふくろにいれる作業がむずかしかったです。むずかしいのは、とうふはすぐにくずれますので、ゆっくりとやりま



そこで、問題がおきました。あまりにもゆっくりとやるもんだから指導員に早くやるように言われました。でも早くやるとくずれるので大変でした。

ふくろいれが終わったら次にとうふを切る作業でした。とうふを切るのはかなりむずかしかったです。なんでむずかしかったのかは、とうふがキレイにタテに切れないのです。いつも横にずれているから、いつもいびつなたちになるから大変でした。指導員にとうふの切り方を教えてもらったけど、でも、うまく切れなかったです。

とうふを切る作業が終わったら次に清掃です。清掃はかんたんでした。モップで床をずっとあらうだけです。清掃が終わったら次にあらう作業をしました。あらうのは大変でした。二時間ずっとあらうか

ら手のかんかくがなくなるぐらい大変で、しかもあらうのが大きいし、よごれもとりにくいから大変でした。これがとうふのひろし屋で私のはたらいたことです。

自分がとうふのひろし屋で作業をしてみても思ったのはさいしょは、6時間ずっと立ち作業しているときは、さいしょは6時間はかなりきつかったけど、二週間もやったら体力がついて前よりは長くできるようになって、さらに早くとうふをふくろにいれることができるようになりました。

『就業体験』

2年8組 Y・R

僕の1週間目の就業体験は沖縄メディコでの作業でした。初日の午前8時には集会があり、その中で沖縄メディコの皆様に挨拶をしました。その時は1週間目の就業体験の中でも特に緊張しました。1日の作業は午前8時半あたりから始まり、商品毎にあったラベルを貼っていく作業と頼まれた商品を運び、それらをまとめるピッキング作業をさせてもらいました。ラベル貼りの作業は初めは作業のペースが遅かったのですが指導員の方の手の動きを真似るなど要領を工夫したことで、体験3日目から作業が早くなっていると褒めてもらい達成感がしました。

沖縄メディコでの就業体験は、指導員の方からの指示や作業自体には少しずつでも慣れていったのですが体験を終えて振り返ってみると沖縄メディコの方達と声かけを通してコミュニケーションをとるべきだったと今となってはそう思います。



2週間目の就業体験は「あんしん」で作業員の手伝いをする形で体験させてもらいました。

あんしんでの1日の作業は午前9時からの朝会が始まるまで作業用のユニフォームに着替え倉庫の中をほうきを使って掃除をし、朝会の後は運ばれてきた商品を棚に入れていく作業と頼まれた商品を各会社ごとのスペースに集め、それらを固定して出荷する作業をしました。

僕はあんしんでの体験をしている内にだんだん自分一人で運べる商品と重たくて運べない商品の区別や1週間目の体験での反省を活かして作業員の方への声かけや質問ができるようになり、そのことから見慣れなかった倉庫内で落ち着けていて作業員の方の手伝いを楽しく感じ嬉しかったです。

『就業体験』

3年7組 T・S

ぼくはサンエー経塚シティに実習に行きました。ぼくはそこでカート回収をしました。仕事内容は、3Fカート置き場と地下カート置き場にあるカートを1Fの食品館前のエスカレーター横のカート置き場と正面出入り口のカート置き場にカートを置く作業をしました。その作業の中にしょくぶつに水やりやパネルの取り付けなどがありました。パネルの取り付けは大きい脚立を使ってパネルの取り付けをしました。初日の午前担当のくがいさんといっしょに店内をまわり、どこになにがあるかなどを教えてくださいながら店内をまわりました。午後くがいさんといっしょにカート回収をしました。そこで大まかな説明を受けてこまかい所はまた別の担当の人に説明を受ける事になりました。くがいさんとやったのは初日だけで、その後は午前午後と担当の人がかわりながらカート回収をしました。



担当の人に安全確認について注意されたので、次からは安全確認をしっかりしたいと思います。

今回の実習で担当の人とのコミュニケーションの部分をほめられたので、次に実習する時は、ほかの社員や担当の人とのコミュニケ

ーションを大切にしたいと思います。

一年生や二年生も次、実習する時は社員の人達とせっつきよくに話をしてみてください。よりいっそう仕事が楽しくなります。

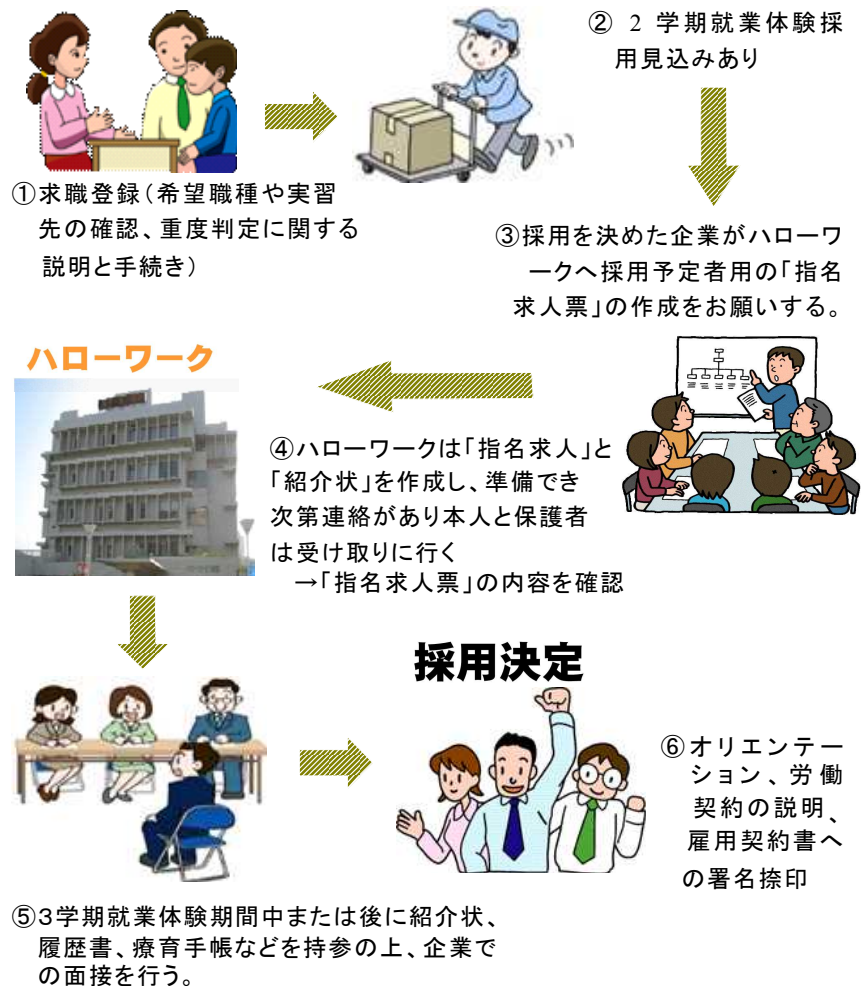
2学期は全学年対象の校外実習を予定しています。

家庭においても、社会人に向けた取組をされてみてはいかがでしょうか。

陽明高等支援学校 3 学年においては、ハローワークを通して就職を行う際の必要な手続きとして、夏休み期間中に全員のハローワーク登録(以下、求職登録)を予定しています。

求職登録のメリットとして、ハローワークを通して就職することで、求人雇用保険や社会保険なども完備された企業への就業が可能となります。また、企業にとっては助成制度を活用しての採用が可能となります。企業は助成金を活用して、当該生徒のために職場環境を整えることができます。つまり、企業は生徒が働きやすくなるために様々な配慮を行うことができ、就職した生徒にとっても働きやすくなるのです。また、就業体験をもとに採用する際、企業はハローワークへ「指名求人票」の作成手続きを行うことが可能となります。この「指名求人票」というのは、公に出される一般求職者対象の求人票とは異なり、就業体験などを通して企業側が採用したい障がいのある生徒を対象としたもので「指名求人票」と呼ばれています。つまり、企業側が意中の生徒のために個別に作成する求人票なのです。

就職までの流れ



3年生にとって10月の2学期就業体験は就職決定に向けての実習となります。2年生、1年生については一つ一つの就業体験で、将来希望する仕事に結びつける大切な機会です。夏休みは家族でじっくりと将来について話し合ったり、様々なところへ出かけ、どのような仕事があるか知る良い機会ですので、2学期就業体験に向けて有意義に過ごして下さい。【進路指導】

夏休みの過ごし方

- ①健康管理 夜更かし・朝寝坊せず、規則正しく!
- ②事故防止 水難事故、交通事故などに注意!
- ③トラブル防止 深夜徘徊は厳禁! スマホの使い方!